

R5年度 千曲市自転車利用に関するアンケート調査【概要版】

1) 調査概要

(1) 調査概要

①調査目的

- 令和元年度に策定（令和2年度改定）した「千曲市自転車活用推進計画」の中間見直し期にあたり、計画の達成状況や市民の自転車利用の変化や意識などを把握するため、アンケート調査を実施。

②市民調査の概要

- 調査対象：18歳以上80歳以下の市民1,500名
- 抽出方法：地区別人口比率による層化抽出法
※更埴・戸倉は地区別（8地区・3地区）の人口比率で抽出し、上山田は地区別の人口が少なく、回収率を考慮すると地区別のサンプル確保が困難となることから、地区別の抽出は行わない
- 調査方法：配布先を抽出し、市より調査票を郵送配布
- 調査期間：令和5年8月3日（木）～8月23日（水）
※調査票の返信締切は8月23日であるが、9月4日着分までを対象として集計

(2) 配布回収状況

対象	配布数	回収数	回収率
全体	1,500 通	608 通	40.5%

地区名	配布数	回収数	回収率
更埴川東地区	645 通	266 通	41.2%
更埴川西地区	285 通	114 通	40.0%
戸倉地区	435 通	165 通	37.9%
上山田地区	135 通	58 通	43.0%

※地区名「未回答」が5件あり。

2) 調査対象範囲

- 本業務では、検討範囲を千曲市全域とする。

3) 市民アンケート結果概要

(1) 調査結果概要

- R5年度自転車利用環境のアンケート調査結果では、R2年度と比べて全体的に大きな変化は見られないが、「自転車の走行場所」「自転車ルール順守の意識」「ヘルメット着用努力義務化」などの自転車ルールの意識・認知度に関する項目では、R2年度と比べて増加している。

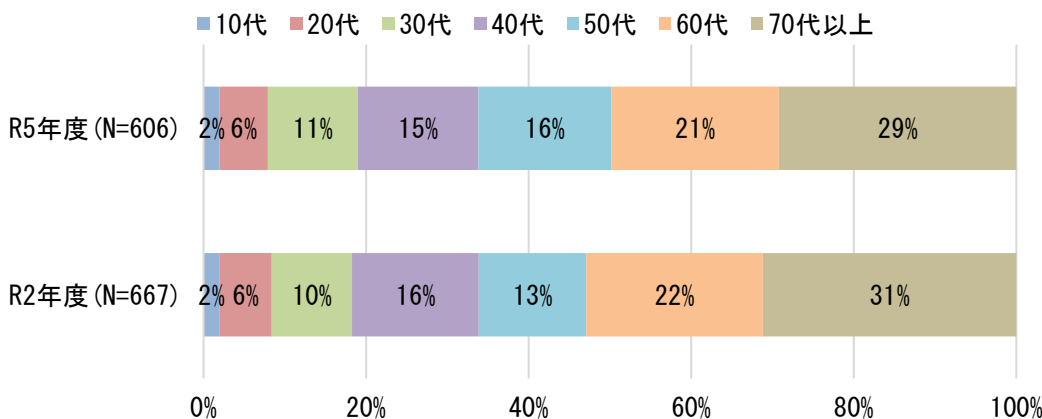
項目	結果概要
回答者属性	・年代では、「70代以上」が29%と最も多く、回答者の約5割が60代以上である。 ・職業では、「会社員」が36%と最も多くなっている。 ・R2年度と比較すると、回答者の年代・職業に変化は見られない。
自転車の利用状況について	・「 <u>自転車を月に数回以上利用する割合</u> 」の目標指標は60%となっているが、「月に数回以上利用する」は32%となっており、更なる自転車の利用促進が必要である。 ・日常的な移動手段は、「自家用車（送迎含む）」が約9割、「自転車」と回答した人の割合は24%で、R2年度と同じ値である。
自転車の走行環境・駐輪環境・ルールについて	・「 <u>市内道路を自転車で走りやすいと回答した割合</u> 」の目標指標は50%となっているが、「走りやすい」「まあ走りやすい」の合計が13%となっており、R2年度と比べて4割減少している。また、「やや走りにくい」が9割増となっている。 ・自転車の走行場所では、「車道の端（左側通行）」が、R2年度と比較して7割増、自転車ルール順守の意識は、R2年度と比べて9割増となっており、自転車ルールに対する意識は高まっている。
自転車の利用促進について	・「 <u>健康を意識して日常的にサイクリングしている割合</u> 」の目標指標は30%となっているが、「サイクリング」と回答した割合は5%となっており、R2年度と同じ値である。 ・シェアサイクルの認知度は約4割であり、「利用したことがある」が1%であるが、シェアサイクルが本格導入された際の利用意向では、「利用したい」が12%となっている。
自転車利用全般について	・「自転車損害賠償保険の加入率」の目標指標は80%であるが、「加入している」と回答した割合は38%となっており、R2年度と比べてほぼ同じ値となっている。 ・ヘルメット着用の努力義務化の認知度は98%であるが、保有率・着用率ともに約1割程度である。一方で、ヘルメットの購入意向について、市民の約3割の人が「補助金があれば購入する」と回答している。 ・年に数回以上自転車を利用する人では、ヘルメットの保有率・着用率ともに約2割程度であり、保険の加入率は54%となっている。

4) 市民アンケート調査

(1) 回答者属性について

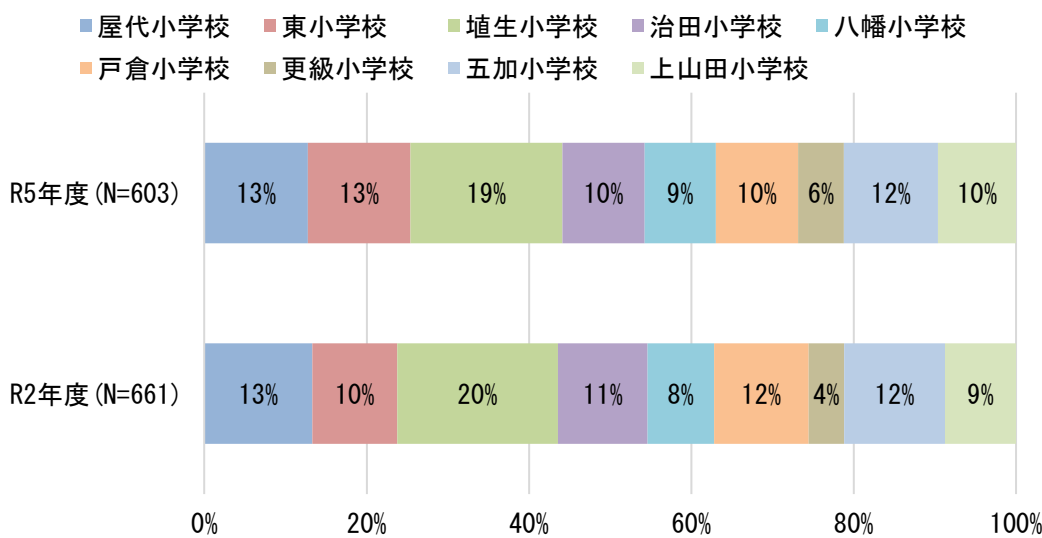
①年代

・ R 5 年度は、「70 代以上」が 29%と最も多く、次いで「60 代」が 21%、「50 代」が 16%となっている。R 2 年度と比べて、回答者の年代に大きな変化はない。



②居住地の小学校区

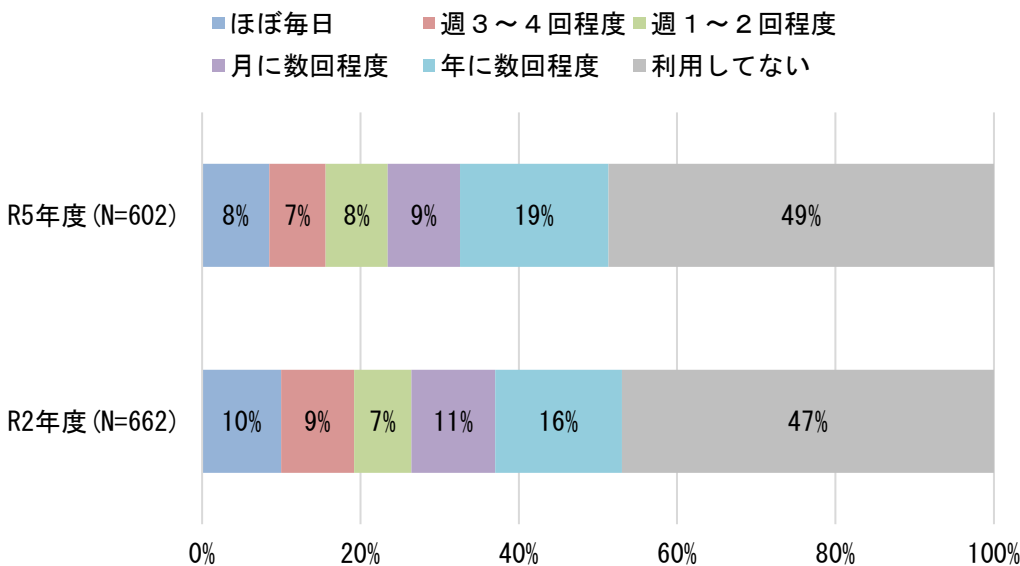
・ R 5 年度は、「埴生小学校」が 19%と最も多く、次いで「屋代小学校」「東小学校」が 13%となっている。R 2 年度と比べて、回答者の居住地区（小学校区）に大きな変化はない。



(2) 自転車の利用状況などについて

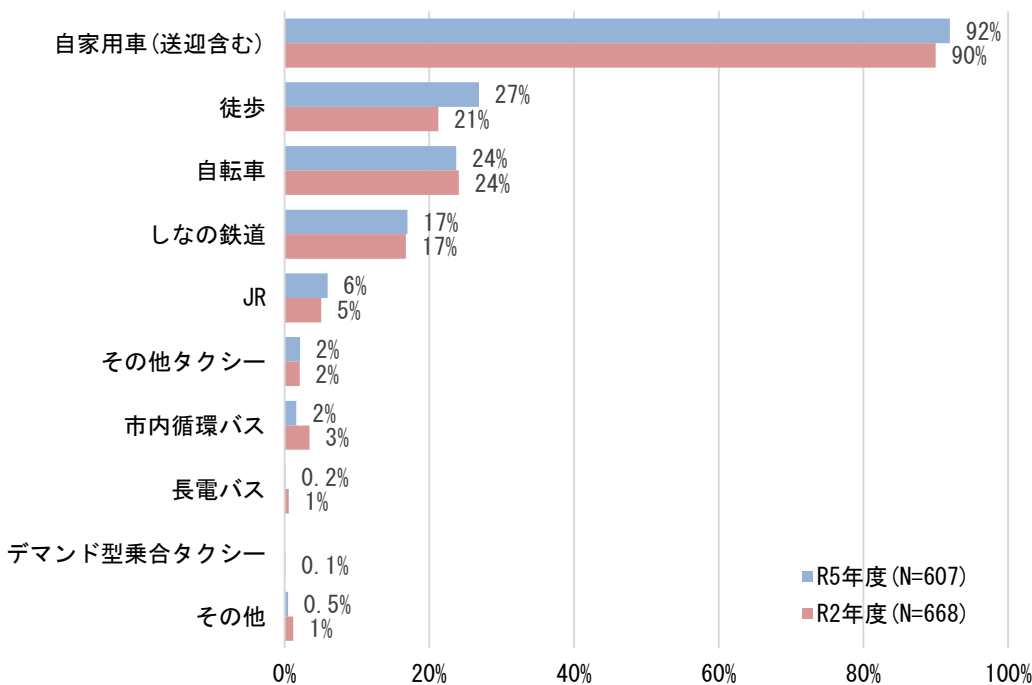
①自転車の利用頻度

・ R 5 年度は、「月に数回程度」以上の利用が 32%となっており、R 2 年度と比べて 5 ポイント減少している。
 ・ 「利用していない」が 49%と最も多く、次いで「年に数回程度」が 19%、「月に数回程度」が 9%となっている。



②日常的な利用手段

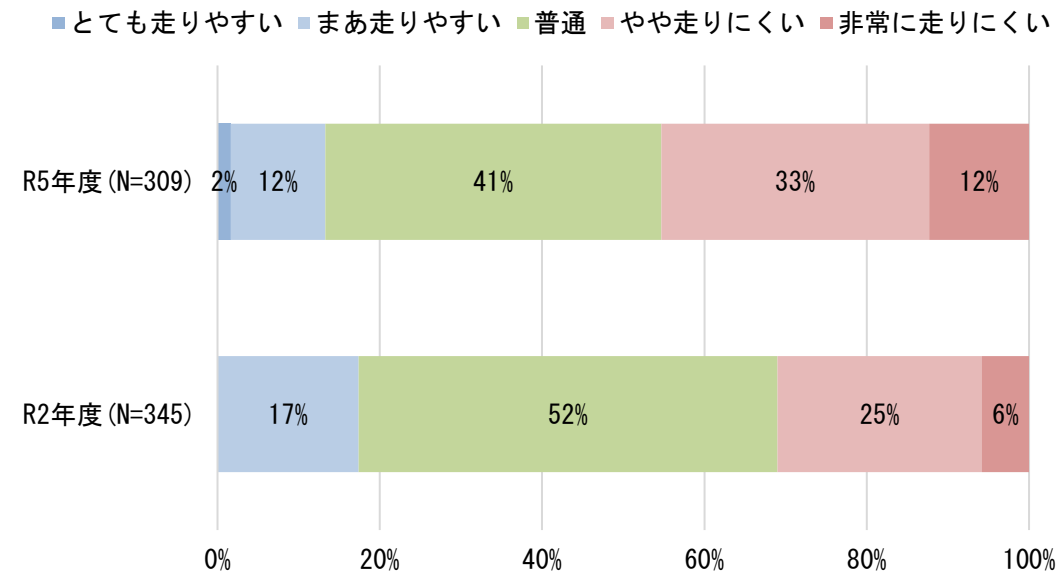
・ R 5 年度は、「自家用車（送迎含む）」が 92%で最も多く、次いで「徒歩」が 27%、「自転車」が 24%となっている。
 ・ R 2 年度と比べて「徒歩」が 6 ポイント高くなっているが、「自転車」は変化が見られない。



(3) 自転車の走行環境・駐輪環境・ルールについて

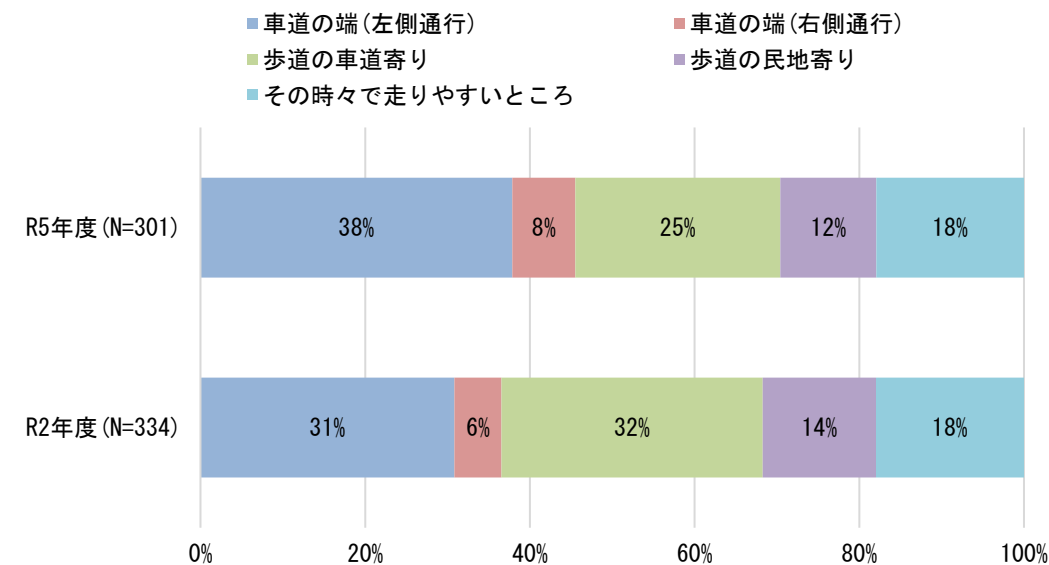
①市内道路の自転車の走りやすさ

- ・ R 5 年度は、「とても走りやすい」「まあ走りやすい」の合計が 14%となっており、R 2 年度とほぼ同じ値となっている。
- ・ 一方で、「やや走りにくい」「走りにくい」が 45%となっており、R 2 年度と比べて 14 ポイント高くなっている。



②自転車の走行場所に関する意識

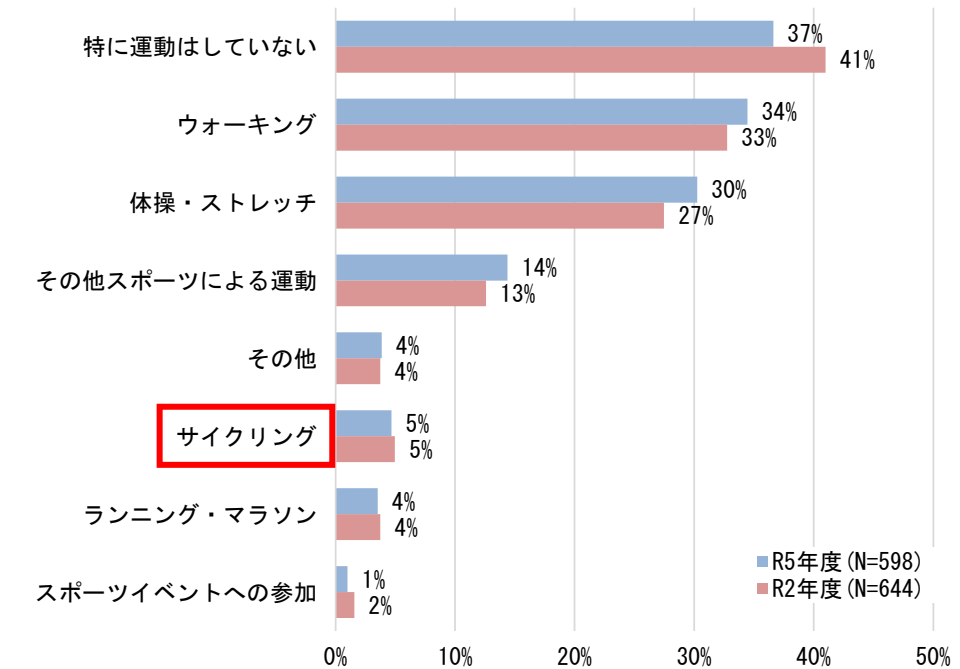
- ・ R 5 年度は、「車道の端（左側通行）」が 38%と最も多く、R 2 年度と比べて「車道の幅（左側通行）」が 7 ポイント高くなっている。
 - ・ R 2 年度と比べて、「歩道の車道寄り」「歩道の民地寄り」の合計が 9 ポイント低くなっている。
- 自転車のルールについては、R 2 年度と比べて向上している。



(4) 自転車の利用促進について

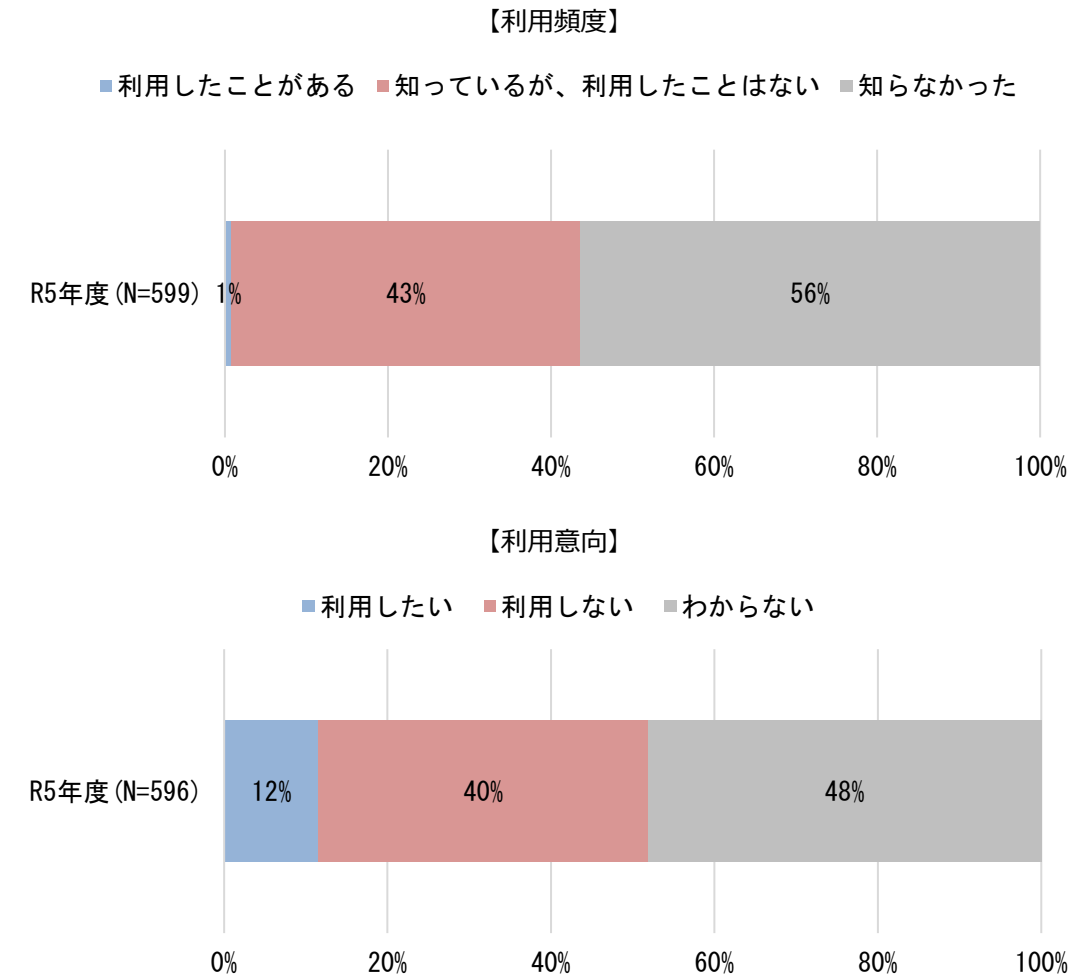
①日常的に主に利用する移動手段

- ・ R 5 年度は、「ウォーキング」が 34%と最も多くなっており、「体操・ストレッチ」が 30%となっている。
- ・ 「サイクリング」は 5%で、R 2 年度と同じ値となっており、目標指標（50%）より低い値となっている。



②シェアサイクルの認知度と利用意向

- ・R5年度は、「知らなかった」が56%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が43%、「利用したことがある」が1%となっている。
- ・「利用したい」が12%となっており、「分からない」が48%、「利用しない」が40%となっている。

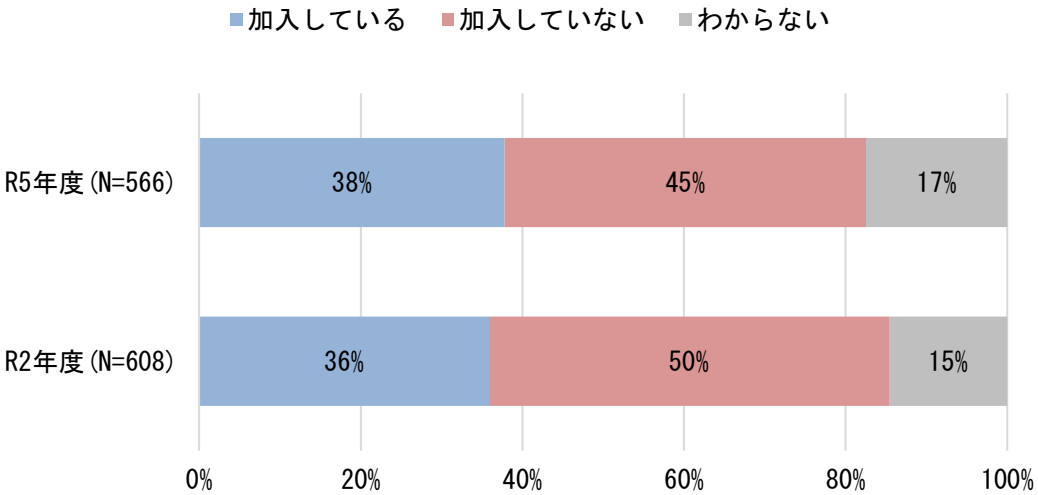


(5) 自転車利用全般について

①自転車損害賠償保険の加入状況

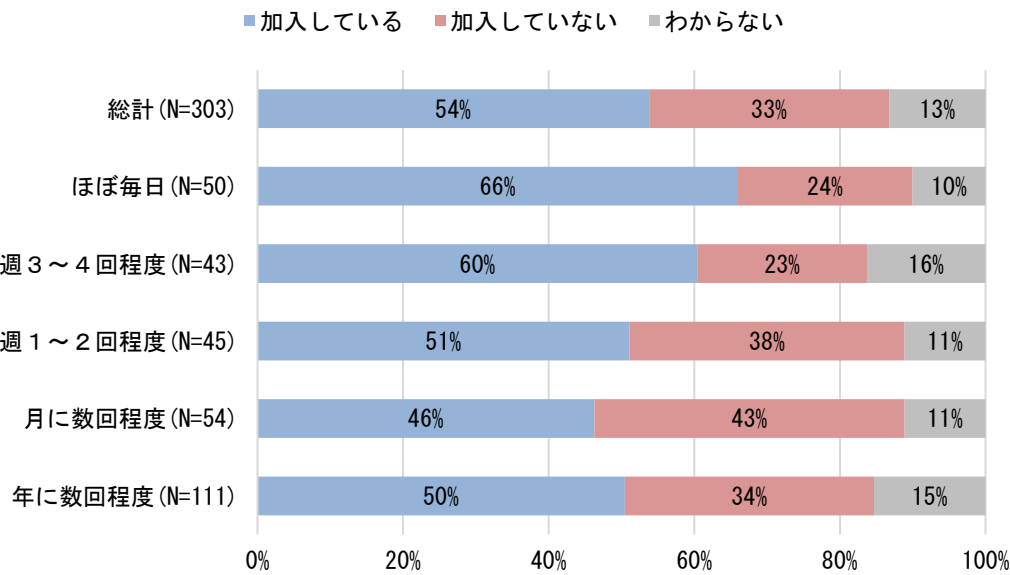
※「自転車を利用する」回答者のみの限定質問

- ・R5年度は、「加入している」が38%となっており、R2年度と比べてほぼ同じ値となっている。
- ・年に数回以上自転車を利用する人の総計では、「加入している」が54%となっている。



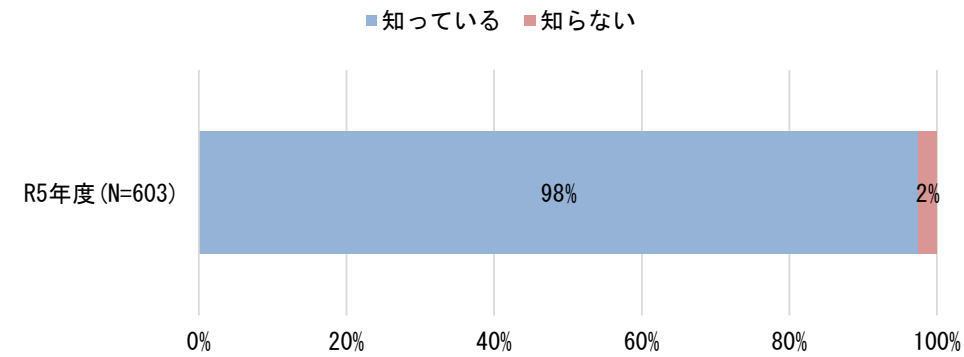
■ 利用頻度別

※問2で「利用していない」と回答した人を除く



②ヘルメット着用努力義務化の認知度

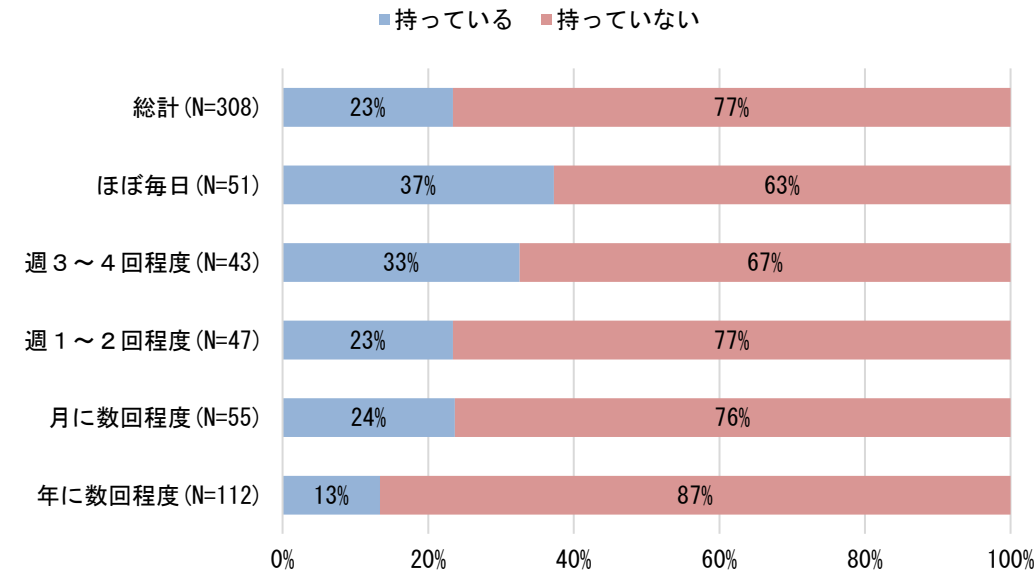
・ヘルメットの努力義務化について「知っている」が98%となっている。



③ヘルメットの保有率

※問2で「利用していない」と回答した人を除く

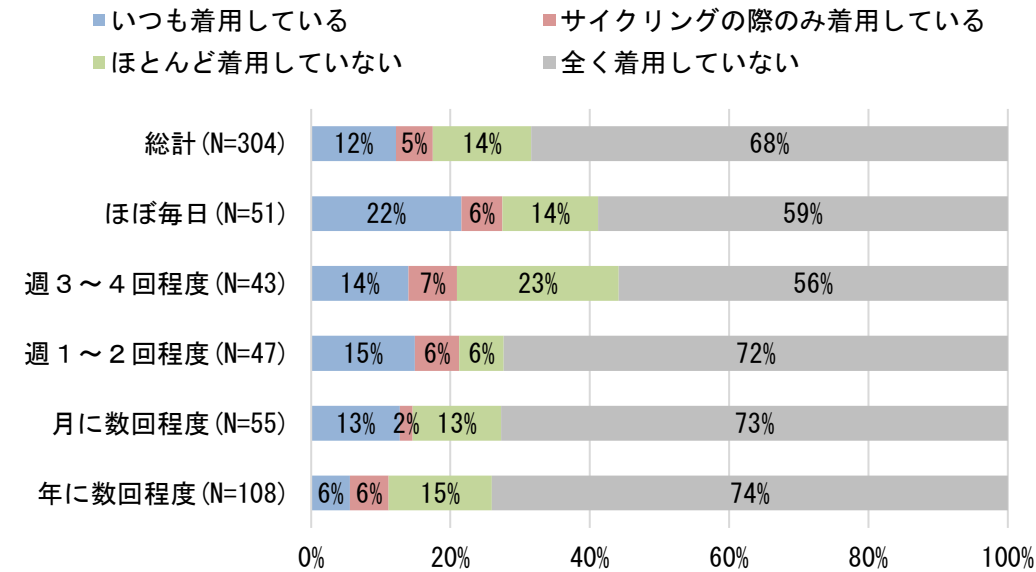
・自転車利用者のヘルメット保有率は、23%となっている。



④ヘルメットの着用率

※問2で「利用していない」と回答した人を除く

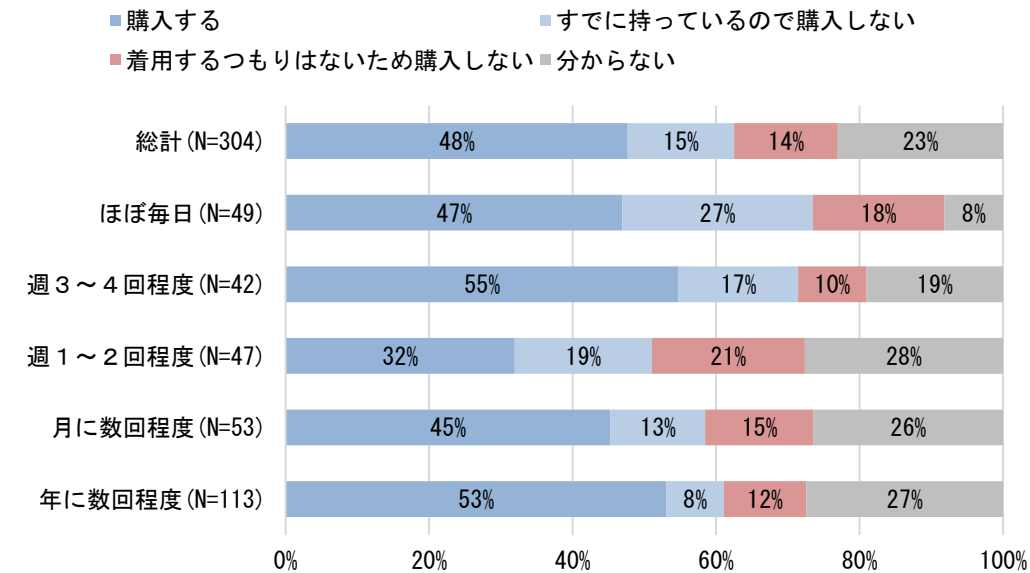
・自転車利用者のヘルメット着用率は、17%となっている。



⑤ヘルメット購入補助金が出た際の購入意向

※問2で「利用していない」と回答した人を除く

・年に数回以上自転車を利用する人の総計では、「購入する」「すでに持っているので購入しない」が63%となっている。



(6) 目標指標の達成状況について (アンケート調査のみ)

- ・「市内道路を自転車で走りやすいと回答した割合」の目標指標は50%となっているが、「とても走りやすい」「まあ走りやすい」の合計が14%となっており、R2年度と比べて4ポイント減少している。
- ・「自転車を月に数回以上利用する割合」の目標指標は60%となっているが、R5年度の調査では、「月に数回以上利用する」と回答した人の割合が32%となっている。
- ・「健康を意識して日常的にサイクリングしている割合」の目標指標は30%となっているが、「サイクリング」と回答した割合は5%となっており、R2年度と同じ値である。
- ・「自転車損害賠償保険の加入率」の目標指標は80%であるが、R5年度調査では、「加入している」と回答した割合は38%となっており、R2年度とほぼ同じ値となっている。

区分	指標名	基準値 (R2年度)	中間値 (R5年度)	目標値 (R8年度)
基盤整備	市内道路を自転車で走りやすいと回答した割合	17%	14%	50%
健康・環境	自転車を月に数回以上利用する割合	37%	32%	60%
	健康を意識して日常的にサイクリングしている割合	5%	5%	30%
交通安全	自転車損害賠償責任保険の加入率 ※全回答者の場合	36%	38%	80%
	自転車損害賠償責任保険の加入率 ※年に数回以上利用する人に限る	変更	54%	80%
	【R5年度追加】ヘルメットの着用率		追加 17%	60%